

# 飯伊地区 産業経済動向

No.533 2023/8  
(5.9.25 発行)



IIDA SHINKIN BANK  
飯田信用金庫  
しんきん南信州地域研究所

<https://www.iidashinkin.co.jp/>  
〒395-0044 飯田市本町1-2  
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132



## Contents

表紙	写真：リニア中央新幹線トンネルの掘削が進む夏の南アルプス ～小河内岳から荒川岳～	P 1
製造業	景況DIは前月から悪化。機械製造では引き続き売上減少との声が多い	P 2
建設業	8月の公共工事は前年比で概ね横ばい。7月の住宅着工は前年比減少	P 4
商業・サービス業	景況感是好転。宿泊業は台風の影響受けるも前年比売上増加の声多い	P 5
しんきんリニア・三遠南信対策室です	新幹線駅周辺の土地利用・規制	P 6
Topic	「いいらぼ」× 三遠南信しんきんサミット	P 8
統計調査から	飯田市の、空き家の状況と対策	P 10
飯伊地区全産業景況DIの推移・「第54回 しんきん経済講演会」ご案内		P 14

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ（<https://www.iidashinkin.co.jp/>）に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



100%植物性油墨インキ  
[ソイユース100] を使用しました。

再生紙を  
使用しています

## 地区内製造業の景況判断指数

### 概況 景況DIは前月から悪化。機械製造では売上減少との声が多い

当月の製造業の業況判断指数（DI）マイナス47.8で、前月から21.7ポイント低下。翌月予測はマイナス38.1で、前月から6.9ポイント上昇。機械製造では、前月同様に売上が減少傾向の事業者が多い。要因として中国経済の減速を指摘する声が聞かれた。また今夏の猛暑により、食品製造では販売や仕入れに影響したとの声があったほか、建設関連製造でも工事の進捗に影響が出ているとの声が寄せられた。

#### 主な業種の動き

##### ●電気・精密・光学

- ☑受注、販売… 販売の前月比は減少～横ばい、前年比では減少との声が多い。受注の前月比は横ばいとの声が多く、前年比では業者により増減分かれた。
- ☑景況感…… 当月の景況感はやや悪化～横ばい。先行きについても同様だが、当月よりも先行きの方が悪化を見込む声が多い。

#### [企業からのコメント]

- ・先行受注があり前年比では増額となったが、この先の状況においては不透明感が出てきている。
- ・市況において、価格が下降している素材が出てきたが、部材においては電気代や為替の影響により値上げ要請を受けている。
- ・再び円安が進み、輸入品の価格転嫁ができない。

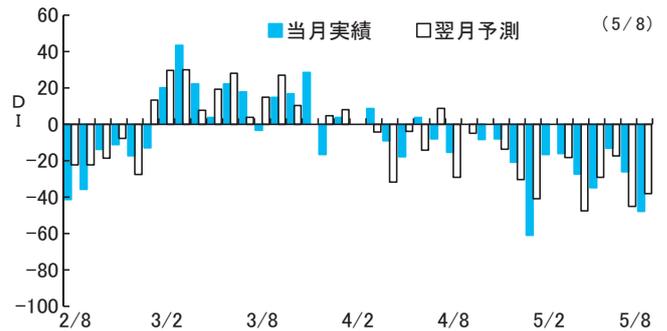
##### ●半導体、液晶製造装置向け機械部品

- ☑受注、販売… 販売の前月比は減少～やや減少、前年比では減少。受注は前月比で減少～横ばい、前年比では減少。
- ☑景況感…… 当月の景況感はやや悪化～横ばい。先行きについても同様。

#### [企業からのコメント]

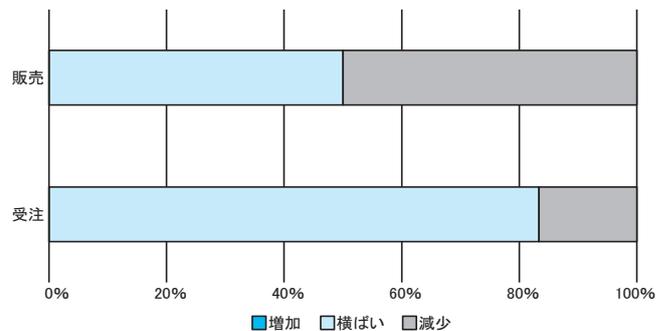
- ・8月は夏季休暇があり稼働日が少ないため7月より売上が減少するが、通常期と比較して悪化傾向にあり、回復時期は不明で相変わらず先行き不透明な状況。
- ・半導体業界は軒並み回復のタイミングを先延ばししている印象。メイン取引先も当初は夏頃の回復を示唆していたが、「年内は期待薄」とトーンダウンしている。他の取引先も厳しい状態が継続。徐々に回復すると思われるが、世界的な（特に中国）不景気の影響を感じる。
- ・出入り業者からは「全体的に厳しい状況が続いている。良い業界も一部あったが、それも陰りが見えてきているのでは」と聞いている。
- ・原材料価格は、まだまだ上がり続けるもの、高止まりしているものの2種類あると考える。目に見えて下がっているものはあまりないという印象。
- ・退職予定者があり、補充を計画中。加工オペレーターを中心に募集中。

飯伊地区景況DI（製造業）

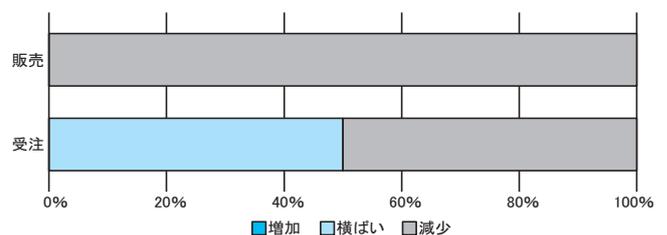


【DI（ディフュージョン・インデックス）とは…  
景況に関する投票を指数化したもので、全体の回答数を分母、良い、やや良いとの回答数を分子にした割合から、全体の回答数を分母、悪い、やや悪いとした回答数を分子にした割合を引いた数値。  
「先月と比べて景況が良い」との回答が多ければプラス、「先月と比べて景況が悪い」との回答が多ければマイナスとなる。

電気・精密・光学向け部品前月比回答割合



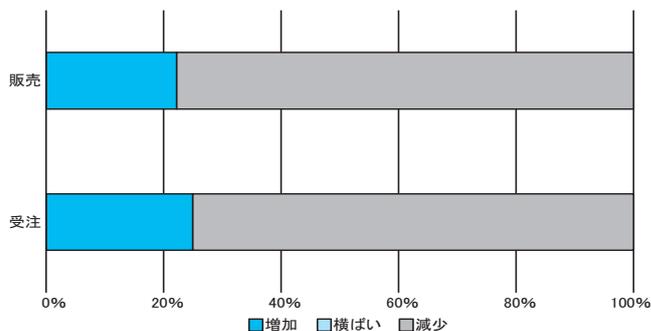
半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合



### ●産業機器、医療機器向け等機械部品

- ☑受注、販売… 販売、受注ともに、業者により増減分かれるが、減少との声が多数を占める。販売の先行きについては減少、横ばい、増加が拮抗している。
- ☑景況感…… 景況感が悪化したと回答した業者は先月とほぼ同数。先行きについては悪化を見込む声と横ばいを見込む声が半々。

産業機器、医療機器向け部品前月比回答割合



#### [企業からのコメント]

- ・「全体的に売上減少」「量産や新製品、試作品等々の動きはまったくない、静かな状態が続く」「昨年と比較すると大幅に減少。産業機器部品、車両関係部品が減少」「動きが良くなったとの声は少ない。半導体産業の回復の動きが、先々に伸びてきている」「全般的に荷物の動きがない。大不況」
- ・「材料費は高値安定」「電気代、ガス代、ガソリン代、薬品代など大幅な上昇」
- ・製造業はコロナ禍で低迷した後回復してきたが、今年は再び悪化している。中国経済の悪化により、産業用機器（工作機械、産業用ロボット等）投資が減速している。しばらく悪い状況は続く。
- ・人員対策として多能工化や改善活動を実施。余剰人員は自己研鑽に充てる。

### ●漬物、半生菓子、菓子原料等

- ☑売上… 漬物は前月比、前年比ともやや増加。菓子は前月比減少～横ばい。景況感については一部に悪化したとの声があるが、大きな変化はないとの声が多い。

#### [企業からのコメント]

- ・「猛暑もあってか、数量ベースでの売上は減少。値上げにより金額ベースでは横ばい」「酷暑による野菜原料の不安定さが仕入れに影響している」「売上は減少。秋は売上が落ちる見込み」
- ・「相変わらず原材料の値上げが止まらない。秋口から値上げをする同業者が多いと聞いている」「主原料値上げのため、製品単価を値上げ」「食品全般につき価格改定が進んでいるが、雰囲気的なものもあるのか、ここまでは大きな販売減少を感じないできている。ただ消費が伸びているわけでもなく、価格改定についても『消極的な承認』であり、ここから先はわからない」
- ・最低賃金の上昇について、パート比率の高い業種であることから影響が大きい。

### ●水引製品、冠婚葬祭・祝儀用品、正月・盆用品

- ☑売上… 前月比はやや減少、次月以降は増加を見込むとの声。景況感はやや悪化、次月以降は好転を見込むという。

#### [企業からのコメント]

- ・8月は休みが多く、また今年は例年になく猛暑で販売が伸びなかったが、値上げが浸透したおかげで利益は確保できた。仏事用品が売上に貢献した。
- ・水引業者は手作業が多く、今年は猛暑で生産が上がらず販売低下につながっている。

### ●上記以外の製造業

- ☑建築用金属製品 … 販売は、前月比横ばい、前年比では増加。景況感はやや悪化という。
- ☑自動車向け部品 … 販売は、前月比減少、前年比ではやや増加。景況感は横ばいとの声。
- ☑印刷 …… 販売は、前月比、前年比とも減少。原材料単価は、上昇が続く見込みという。

#### [企業からのコメント]

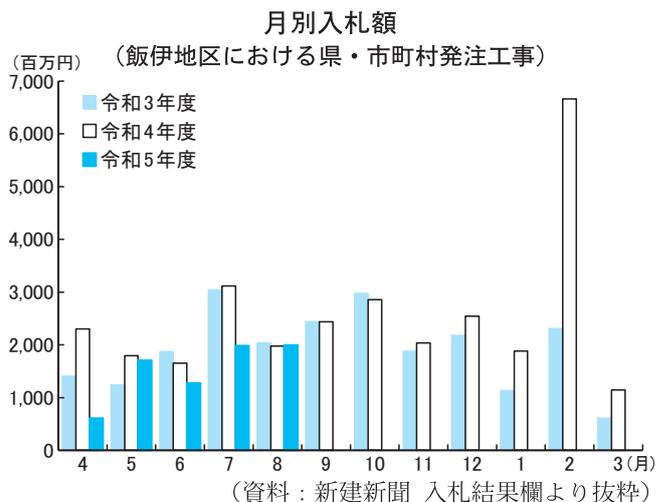
- ・首都圏の大型建築物は端境期で、現在は仕事量が少ない状況。来年初めからまた忙しくなると予想している。
- ・お祭りの開催規模がコロナ前に段々と戻りつつあり、花火番付等の仕事も復活の兆しあり。しかし、町村や地域によってイベントの開催規模にまだまだ差がある。
- ・「建築関係の物件はゼネコン職員の不足、現場作業員の不足、猛暑、建築資材の高騰等の要因で、どの現場も数か月の遅れが発生してきており、受注が増えると考えていた時期が予想よりも遅れている」「やはり人材不足が大きな悩み。これから年末・年度末に向け、何としても人材確保をしなければならない」

# 建設業

## 官公需

**概況** 8月の公共工事入札金額は前年比で0.9%増加、一昨年比では2.2%の減少

- ☑公共工事入札額… 当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約19.9億円（9月15日調査時点）。前年に比べ0.9%増加、2年前との比較では2.2%減少。
- ☑受注残高…………… 前月比は業者により増減分かれる。前年比は横ばい～やや増加。景況感には大きな変化はないとの声が多いが、先行きは一部にやや好転を見込むとの声も。
- ☑原材料価格…………… 前月比は業者により増減分かれる。先行きの見込みについては横ばいとの声と、上昇との声に分かれる。



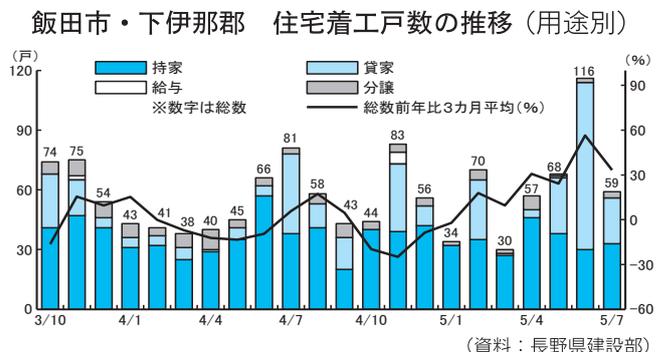
### 〔企業からのコメント〕

- ・今年は例年に比べ工事が少なく、生コン、骨材の出荷量も少なく、労務も遊んでいる状況。今現在はそんなに忙しくないが、今後災害工事等が発注になれば忙しくなりそう。
- ・「災害関連工事の設計等により、通常公共工事の発注が遅れている」「災害関連工事等が増え、受注工事量は増加傾向」「受注額は前年並みの状況」
- ・「施工社員が不足」「工事量は増加傾向にあるが、人手不足」「技術者不足」

## 民需

**概況** 令和5年7月の住宅着工戸数は59戸で前年比27%減。持家、貸家ともに減少し、4か月ぶりに前年比マイナス

- ☑住宅着工戸数… 当地区の7月の住宅着工戸数は59戸。前月比49%減、前年比では27%減。持家の戸数は33件と、前年（38件）からやや減少。貸家は23件で、こちらは前年（40件）からほぼ半減だった。
- ☑原材料価格…………… 前月比では概ね横ばいとの回答が多くなっており、一時期の上昇局面と比較すると落ち着いてきた。次月以降も概ね横ばいを見込むとの声が多い。



### 〔企業からのコメント〕

- ・「一般工事で中型の仕事がもらえた。リフォームもそこそこにある」「受注残は前月比でやや増加したが、前年比では減少した状態が続いている」
- ・補助事業が少し出てきたが、建築の仕事は少ない。
- ・木材や合板は安くなっているはずだが、そんなに値段は下がらない。
- ・「人員は現状足りているが、今後は不足する見通し」「技術者、営業等は通年で募集」

## 建設資材等

**概況** 8月の生コン売上は前月比減少。骨材売上も前月比で減少

- ☑生コン … 売上は前月比、前年比ともに減少。
- ☑骨 材 … 売上は前月比、前年比ともに減少。

### 〔企業からのコメント〕

- ・当月の生コンの主な出荷は、工場建設、砂防・治山工事、三遠南信工事、リニア関連工事に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の約2%。
- ・単発的な大きな出荷があるが、下伊那全体的に生コン出荷量が低迷している。工事自体が少ないように感じる。三遠南信小嵐トンネル工事も進み、毎日打設していたのが月に数回に変わってきた。
- ・リニア関連の大鹿および国道の飯田北改良など、下伊那は飯田中心街を境に北高南低状態。
- ・4月に生コン価格を上げたが、燃料高騰は辛い。利益が薄くなっていく。

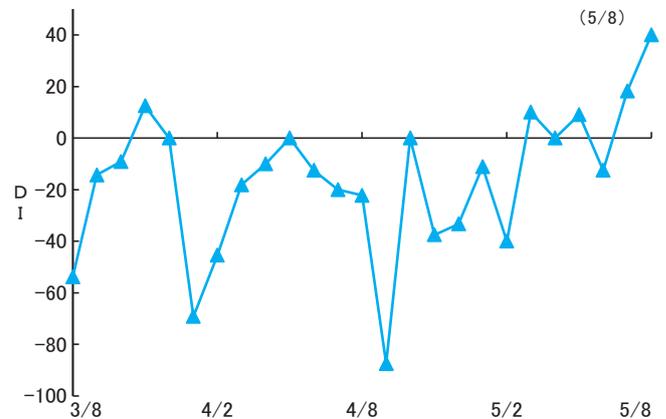
概況 景況感は好転。宿泊業は台風の影響受けるも、前年比売上増加との声多い

当月の商業・サービス業の業況判断指数（D I）は、プラス40.0で、前月から21.8ポイント上昇。

景況感好転の声は特に宿泊業で多く、お盆の台風による影響を受けながらも、売上が前年比増加との声が多く聞かれた。飲食業でも前年比売上増加の声が多い。小売業・卸売業は業者により増減分かれた。多くの業種に共通して、物価上昇による影響を受けて利益が圧迫されている、消費動向が弱くなっているとの声は多い。

雇用については、飲食業、宿泊業で接客対応の人手不足が続いているとの声が多い。ただ現状では具体的な対応策がないとの声もあり、外国人技能実習生に期待するとの声も複数聞かれた。

商業・サービスD I



## 主な業種の動き

●小売業 概況 売上は前月比、前年比とも業者により増減分かれる。

☑売上 … 前月比、前年比とも業者により増減分かれる。景況感是一部に悪化したとの声も。

### [企業からのコメント]

- ・ビッグモーター社の影響による中古車市場の混乱および景気低迷により、前年8月対比は大きく落としている。
- ・「各メーカーの値上げは今後も考えられる。消費者は大変だと思う」「ガソリン代や電気代、食品等の物価上昇による買い控えあり、購入平均価格が減少傾向」「市場相場およびメーカー希望小売額の上昇分を販売価格に転嫁した」

●卸売業 概況 売上は前月比、前年比ともに業者により増減分かれる

☑売上 … 青果、電設資材の売上は前月比でやや増加、食品は前月比やや減少との声。

### [企業からのコメント]

- ・野菜は、高温や、地域によっては大雨の影響を受け作柄不良になり、6割の品目で昨年価格を上回った。特に白菜は6割高、馬鈴薯と南瓜は5割高、ナス・キャベツ・ピーマンは4割高で、野菜全体では9%の高値となった。果実は、高温が続き、盆明けもスイカや桃の需要が高く好調な販売。つがる・幸水も順調な入荷。全体では入荷量、価格ともほぼ前年並となった。
- ・売上面では省エネ家電製品、LED照明が伸びた。燃料費、電気代の高騰により省エネ製品への取替需要が増加。昨年は補助金関連の特需があったエアコンに関しては前年比ダウン。仕入面では、供給不足は落ち着き、原材料高、輸送コスト高による値上げ感が非常に増している。
- ・公共物件および民間企業の設備更新が昨年度より増加している模様。受注に繋がられるように努力する。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 飲食業は前年比で売上増加との声。宿泊業では台風の影響を受けながらも前年比売上増加との声が多く、景況感が好転したとの声も多い。

☑売上 … 飲食業、運輸業は前年比増加、宿泊業では業者により増減分かれるが前年比増加との声が多い。

### [企業からのコメント]

- ・コロナ禍の8月に比べると良くなっているが、コロナ前の8月よりは数字がかなり悪い。景気自体は決して良いとは言えない。物価高により、消費動向が明確に落ちていることを感じる。
- ・昨年は時短要請があったため昨年対比は良いが、コロナ前にはもう少し。食材高騰のため、値上げをせざるを得ない。
- ・「お盆の台風によりキャンセルが続出したが8月トータルでは昨年よりやや上。お盆以外の日に動きが出た分と、夏休み中で料金設定を高めにしたことによる増加」「台風によるキャンセルで前年比売上減。通常であれば前年比プラスだった」「9月15日までヘブンスナイトツアーが休業のため、9月は夏休み中に比べて半分以下の日が続く予定」「台風の影響でお盆中に大量のキャンセルが出た。稼働確保のために価格変更した後に新たな予約が入った。変更しなかった施設は空室が目立った」
- ・アフターコロナとなり平常を取り戻しつつあるが、依然としてタクシーの大口需要、企業利用は厳しい状況である。今後とも、コロナ前との対比では厳しい状況は変わらない。
- ・昼神含め、伊那谷を周遊できるコース設定と、車のない方へのレンタカーなど、二次交通の整備をすることにより利便性が図られるとよいと思う。
- ・昼神のどこの旅館も人手不足に悩まされているのでは。現状では打ち手が見つからず、中国の研修生の入国待ち。

## 新幹線駅周辺の土地利用・規制 ～ 開発期待と規制、「調和ある発展」は～

前回(令和5年7月No.532)の北陸新幹線新高岡駅訪問を踏まえ、駅周辺の開発・土地利用や規制を巡る問題について考察したい。

### 1 高岡市の都市計画の現状

「新高岡駅周辺は市街化調整区域ですから」。高岡市役所を訪問した際、市職員から出た言葉。

頁右下図に高岡市の都市計画の概要を示す。高岡市には、まず「富山高岡広域都市計画区域」の指定がある。「広域」というのは、高岡市から射水市、富山市までの市域を跨った都市計画となっているため。右下概要図では、この都市計画区域が更に東へ富山市まで続いている。これに加え、高岡市内には旧福岡町(平成17年合併)区域内に「福岡都市計画区域」が指定されている。合併により「同一の都市計画区域に含まれるよう指定を行い、一体の都市として総合的に整備、開発及び保全を行うことが望ましいが」(都市計画運用指針)「合併前の市町村をめぐる社会的、経済的状況等地域特性」「地理的条件等」(同)により「複数の都市計画に含めて指定することも考えられる」(同)とされているものである。

旧福岡町区域を除く高岡市内はほぼ全域が都市計画区域に指定され、高岡駅周辺など中心市街地を始め各所に市街化区域が、それ以外の区域は市街化調整区域に指定されている(都市計画法第7条・区域区分の定め)。

一方、旧福岡町区域内は、都市計画区域と都市計画区域外に分かれ、都市計画区域内には用途地域が定められた区域(法第8条・地域地区の定め)と、用途地域が定められていない区域(非線引地域または白地地域)がある。後述するが、当飯田市では、市内に都市計画区域と都市計画区域外とがあり、都市計画区域内に用途地域が定められた区域と用途地域が定められていない区域(非線引地域または白地地域)が指定されていて、この旧福岡町区域と同様となっている。

### 2 新幹線駅周辺の開発と市街化調整区域

「市街化調整区域」であるが、都市計画法で「市街化調整区域は、市街化を抑制すべき区域とする」(法第7条3)とされ、当該区域においては「①周辺居住者の生活に必要な建物(診療所、保育所、食料品店等)、②鉱物資源、観光資源の利用に必要な建物(生コン工場、観光展望台等)、③農林水産業及び関連産業用の建物(貯蔵倉庫、缶詰工場等)、④危険物の貯蔵・処理用の建物(火薬庫等)、⑤道路交通に必要な建物(ガソリンスタンド)、⑥地区計画に適合する建物等」が開発できるものとして例示されている(法第34条、「都市計画における土地利用規制について」国交省HP)。これから得られるイメージは、①はともかく、②～⑤は農地が広がる中に一部山林原野も見られる、もしくは都市化の中で居住や事業活動にそぐわないものを置く区域、と言えようか。

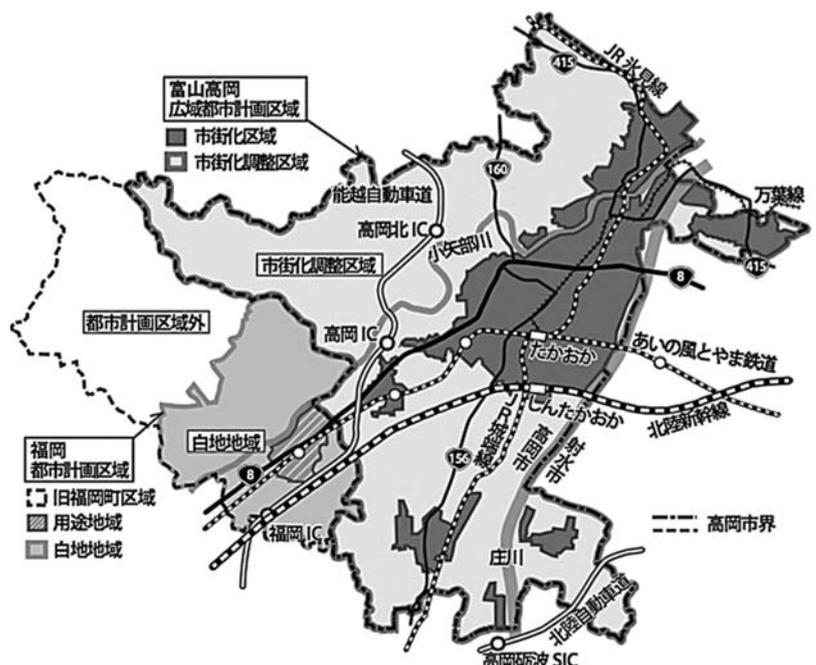


建設中の北陸線幹線新高岡駅 (平成26年)



新高岡駅の周辺は田圃が広がる

高岡市都市計画の概要



高岡市においては、新高岡駅周辺を始め市街化調整区域、非線引き白地地域を「田園環境エリア」として「無秩序な開発の抑制とともに田園環境の保全を図る」（高岡市都市計画マスタープラン 平成30年度）としている。一方で新高岡駅の場所そのものは「計画・開発促進地区」における「商業系」で「都心エリア」に位置付けられており、当然のことながら、広域・拠点間交通ネットワークにおける一拠点ともされている。現状、新幹線駅と隣接するイオンモールは既にその機能を担っているといえる。その周辺の市街化調整区域において開発需要は起きてこないか、そうなったときの対応はどうなるのかは今後考えられる問題ではと考える。その辺の見通しについては、高岡市役所訪問時のヒヤリングでは明確な見解は伺えなかった。

### 3 飯田市リニア長野駅周辺の土地利用規制

当地域のリニア駅付近の都市計画の概要は下図の通り。前述の通り、当市は区域区分を定めず、地域地区を定めている。リニア本線とリニア駅が置かれる上郷・座光寺地区のいわゆる下段は、都市計画区域内であるが、多くの部分が白地地域（容積率100、建蔽率60）で、用途地域が定められているのは主に飯沼区の国道153号と県道市場桜町線に挟まれた地域であることが判る。

リニア計画の進展に対応して一部変更された用途地域の状況を見ると、リニア駅周辺（いわゆる6.5ha）は近隣商業地域（容積率300、建蔽率80。住宅、店舗、小規模工場など）で、「（リニアの）駅前広場や交通結節点に相応しい用途を誘導するため」（市説明資料）指定されている。国道153号沿いと県道市場桜町線沿いの一部に準工業地域（200/60、大規模工場など一部を除き規制なし）が指定されている。その準工業地域から段丘崖に向かっては、第一種および第二種住居地域（共に200/60）で「住居の環境を保護するため」（法第9条5・6）の地域として、一定の制限のもとに事業所等を置くことができる。

上記に加え、地区計画の策定及び特定用途制限地域の指定が取り組まれている。まず上郷地区の特定用途制限地域（右図点線部）は、国道153号沿いの、従来からの飲食店や各種事業所が引き続き土地利用を可能にするためとして設けられた。これは「用途地域が定められていない土地（市街化調整区域を除く）内において、その良好な環境の形成または保全のため（略）制限すべき特定の建築物等の用途の概要を定める地域」（法第9条15）とされ、現状一部に農振農用地を含む白地地域で「用途地域を定められないため」（市の説明）地区計画と建築条例により規制をかけるとした。これにより準工業地域と同様の建築が可能になるとともに、建築物の高さ制限（15m）を設定、「（駅方面からの）山並みの眺望を確保する」としている。

地区計画は、「それぞれの区域に相応しい様態を備えた良好な環境の街区を整備し、開発し、及び保全するための計画」であり、「用途地域が定められていない土地」で市街地開発や建築物もしくはその敷地整備が行われ、それらが無秩序に行われることが見込まれる、あるいは不良な環境が形成される恐れがある場合などに適用が想定されている（法第12条五）。

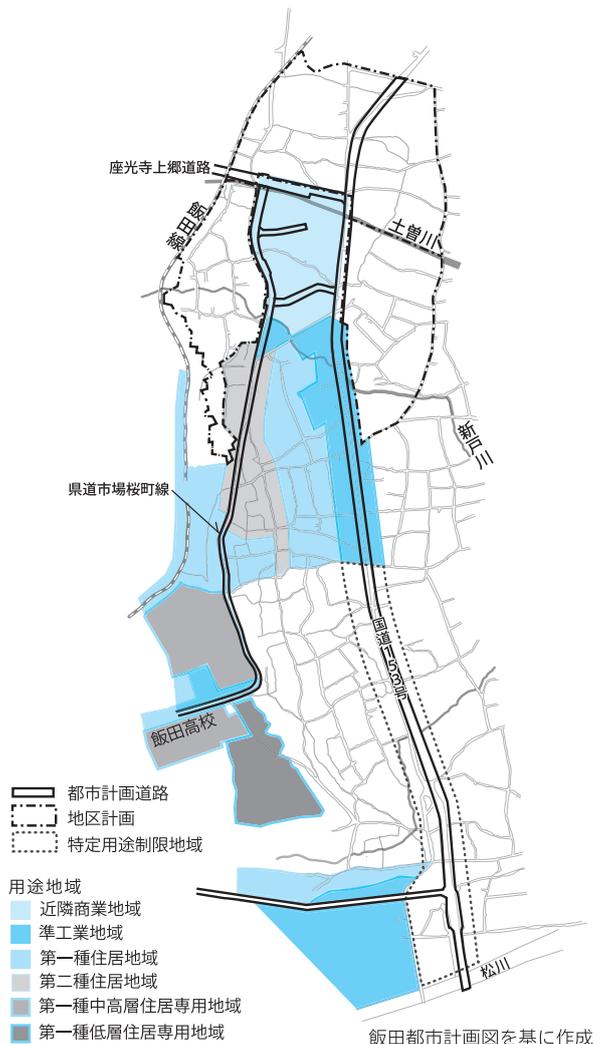
上郷地区と座光寺地区において検討が行われてそれぞれ範囲が確定した（右図一点鎖線の範囲）。上郷地区から座光寺地区にかけて国道沿いに商工業エリア（50m幅）、リニア本線沿いの沿線エリア、その周りの居住エリアに区分する。容積率・建蔽率は白地地域の一般的なもの、最低敷地面積などの他、商工業エリアで15m 沿線・居住エリアで12mの高さ制限を設けている。

### 4 今後の駅周辺の開発動向は

新幹線駅周辺は、多くは様々な開発期待が募るところとなっているようだ。以上見てきたように、リニア長野県駅周辺の周辺、上郷・座光寺地区は、これまで国道沿いは事業所の集積、その周りは田園地帯の中に住居が点在という様相を呈し、現状の駅周辺の土地利用計画もその延長上にあり、地域住民の度重なる協議・検討の上に形成されたものといえる。

その中で、建築高さ制限などは今後も議論になると思われる。また、駅周辺にモザイク状に広がる農振農用地を踏まえた土地利用の在り方も検討材料となろう。

リニア長野駅周辺都市計画の状況



飯田都市計画図を基に作成

（飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平）

## 高校生が、地域のためにできることはなんだろう

『高校生が、地域のためにできることはなんだろう』という問いから始まった「いいらぼ (Iidamizuhiki labo)」。

「いいらぼ」は、水引を使った飯田のブランディングを目指し、長野県飯田高等学校2年生が中心となった高校生の団体で、「いいだのいい水引。」を合い言葉に、飯田、水引の情報を地域内外に発信している。

この「いいらぼ」が、来る10月28日(土)、浜松市で開催される「第16回三遠南信しんきんサミット」に出展、水引製品の販売、結びのワークショップを行い、遠州地域で、当地域、水引の情報を発信することとなった。当地域からは、他にゆず製品の「タカラ農園」、阿智村・平谷村・根羽村の3村合同「フォレストパーク 森の収穫祭」が地場野菜を、(有)ポルカが「結びサンド」を始めとする菓子を出展する。

今回は、「いいらぼ」代表：宮下あかりさん、副代表：村澤春風さんに、「いいらぼ」の活動や地域、水引に対する思いを熱心にお話いただいた。

### 《それは、探求学習の授業から始まった》

#### ●「いいらぼ」の活動のきっかけを教えてください。

私たち二人は、高校1年生の探求学習で、どうすれば飯田の賑わいを取り戻せるのか考えました。その中でブランディングという手法を知りました。飯田をブランディングすれば賑わいを取り戻せるのではないかと考えたことがきっかけです。



「いいらぼ」宮下あかりさん(右)、村澤春風さん(左)

### 《阿智村=☆のように、飯田=水引にしたい》

●改めて簡単に紹介すると、飯田をブランディングするということは、「飯田といえば〇〇」としてもらえるように、飯田を他地区と差別化する取り組みのことですね。「水引」で飯田を差別化できると思ったきっかけは、どのようなものだったのですか？

私たちは手始めに、ホテルなどにご協力いただき、特に地域外からの来訪者等に当地域の魅力をアンケート調査しました。

すると、「自然」、「人形劇」といった、私たちには

ごくありふれたものが、地域外の人達にはとても魅力があることに気づきました。内と外では目に映るものが全く違ったのです。

中でも、大阪からわざわざ水引を買いに来た方がいらっしゃったことが、「水引で飯田をブランディングできるのでは」と考えるきっかけになりました。

それまで、私たちにとっても、水引と言えば伝統工芸品としてのイメージが強く、さほど身近に感じることはなかったのですが、飯田の水引業者を訪ねて話をうかがい、ワークショップなどで、「淡路結び」「桜結び」だけではない、地域に伝えられた様々な結びの技法も知るにつれ、地域に伝わる水引を、もっと多くの人に伝えたいと思うようになっていきました。

高校生が探求学習を発表する場には、「U-18サミット」や、飯田女子高等学校も長野県知事賞を受賞されたことがある「マイプロジェクトアワード」などがありますが、こうした機会に同世代の人たちと探求学習の成果を交換し、語り合う中で、私たちの世代でも「水引っていいね」って言ってもらえることに気づきました。

### 《今、「いいらぼ」がやっていること》

●皆さんは、探求学習で学ぶだけでなく、実際に行動を起こしましたね。

私たちは来年受験です。地域のために何かできると

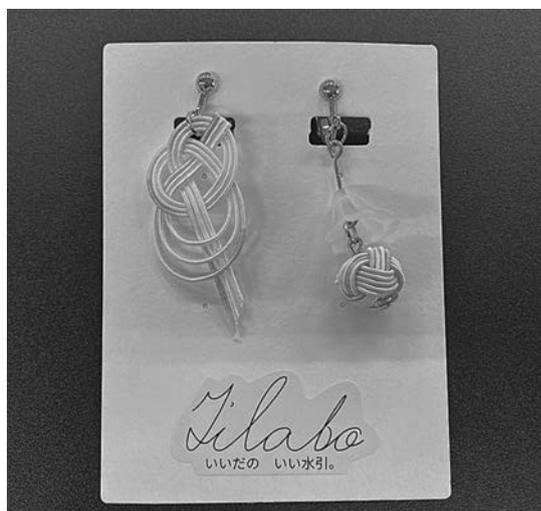
したら、今しかありません。限られた時間で精一杯やりたいと思い、今年4月から「いいらぼ」としての活動を始めました。7月には松本市の信毎メディアガーデン、9月にリンゴ並木で開かれた「街角芸術祭 in りんご並木」で、ワークショップと水引の販売をしました。

「いいらぼ」は、私たち2人の他に西脇公彦と吉川結悟が「いいらぼ」の運営として会計担当やSNS担当といったように仕事を分担し、イベントの企画などを行っています。西脇と吉川は同じ飯田高校の2年生です。また、運営の4人の他にメンバーが24人で、飯田風越、飯田OIDE長姫、飯田の2年生と1年生です。メンバーは各イベントの二週間前くらいから集まって商品を作成し、ワークショップで教える練習をして、イベント当日はスタッフとして活躍します。「いいらぼ」の活動はInstagramでご覧いただけます。



さっきも言いましたが、私たち自身、水引をあまり身近には感じていませんでした。ですから、まず考えたのは、私たちの世代でも身近に感じる水引製品ということでした。価格もデザインも、私たちが手に取りたくするような製品。そこで考えたのがイヤリングです。

イヤリングは1個500~600円で販売しますが、やってみて、値付けは難しいと思いました。私たちが手に取りやすい価格といっても、水引やネット購入する部材の原価もあれば、売上の範囲で活動していけるよう



にしたいと考えてもいます。それに、水引で飯田のブランディングを目指す「いいらぼ」にとって、価格は飯田の価値だと思っています。

これまでの経験だと、アクセサリーは随分買っただけようになってきたと思います。男性向けにもストラップやしおりがあります。ぜひ手に取ってみて下さい。

「いいらぼ」の活動を通して、多くの人とつながりができました。仲間たち、両親を始め、お話をうかがった水引業者の方は、私たちの話を笑顔で聞いてくださいましたし、地域のホテルの方は私たちの調査に惜しみなく協力してくださいました。ワークショップに参加してくれた外国人とは英語で水引のお話もしました。人と直接お話すって、いいなと思っています。



「いいらぼ」のワークショップ（写真提供：南信州新聞社）

### 《「いいらぼ」× 三遠南信しんきんサミット》

●「三遠南信しんきんサミット」は、三遠南信地域に本店を構える8信用金庫が、県境を越えて地域活性化のために協同して取り組む事業で、今回は浜松市が会場です。皆さんから浜松の皆さんに一言お願いします。

県外で飯田水引を発信するのは初めてです。私たち高校生が、地域に関わっていることを知っていただきたいと思っています。私たちの取り組みが、誰かの行動するきっかけ、勇気になれば幸いです。

飯田の皆さんにも、水引をもう一度見直してもらえればと思います。水引産業の担い手がいなくなってしまうと、飯田水引というものを伝えることができなくなってしまう。飯田水引を支えるのは、やはり飯田の人だと思うのです。

（インタビュー、構成：しんきん南信州地域研究所 中村 達）

## 飯田市の、空き家の状況と対策

平成27年5月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が施行され、増加する空き家対策として、行政が、空き家の実態調査、所有者に対する適切な管理の指導、空き家の活用促進、特定空家の指定、これに対する助言、指導、勧告、命令や、過料の制裁、行政代執行を行うことができるようになった。

飯田市では、空き家が防災、防犯、衛生、景観等に与える影響に加えて、空き家の増加が地域コミュニティの活力低下の要因になっているという認識の下、平成28年3月に「飯田市空き家対策計画」を策定し、令和4年に改定され、空き家対策を総合的かつ計画的に推進している。今回は、飯田市の空き家対策をご紹介します。

### 1 飯田市の空き家の状況

#### (1) 住宅・土地統計調査にみる、飯田市の空き家の状況

総務省が5年毎に行う住宅・土地統計調査は、抽出調査のため調査結果の数値は推計値だが、空き家の全体像を確認できる。定義から、行政の対策が必要とされる空き家は、主に「その他の住宅」が当たる。

下表は、平成30年の同調査結果だが、全国では、「空き家率」が13.6%で過去最大となっており、空き家のうちの「その他の住宅」の戸数は前回の平成25年調査よりも8.7%増加している。長野県の空き家率は19.6%で前回調査よりもわずかに減少しているが、これは住宅の総数の増加率が高かったためで、空き家の内の「その他の住宅」の戸数は前回調査よりも11.7%増加した。

飯田市の「空き家率」は15.8%で、県内19市の中では高い方から11番目の平均的な状況になっている。また、「その他の住宅」は3,690戸と推計されており、これは平成15年の同調査1,810戸の約2倍になっている。また「賃貸用の住宅」について、空き家率は6.7%と、全国、長野県に比べ大きな差はないように思われるが、前回に比べ空き家の戸数が25.2%増加していることが注目される。

統計調査区分 (単位: 戸)	全 国			長 野 県			飯 田 市		
	戸 数	総数比	前回比	戸 数	総数比	前回比	戸 数	総数比	前回比
住宅の総数	62,407,400	100.0%	2.9%	1,008,000	100.0%	2.5%	44,680	100.0%	3.4%
居住あり	53,616,300	85.9%	2.8%	806,600	80.0%	2.9%	37,640	84.2%	1.5%
居住なし	8,791,100	14.1%	3.0%	201,400	20.0%	1.1%	7,040	15.8%	13.9%
一時現住者のみ・建築中	302,500	0.5%	-9.4%	4,100	0.4%	-22.0%	0	0.0%	皆減
空き家	8,488,600	13.6%	0.1%	197,300	19.6%	-0.2%	7,040	15.8%	2.0%
二次的住宅	381,000	0.6%	-8.1%	48,400	4.8%	-5.6%	210	0.5%	-9.5%
賃貸用の住宅	4,327,200	6.9%	0.8%	61,100	6.1%	-6.1%	3,010	6.7%	25.2%
売却用の住宅	293,200	0.5%	-5.1%	3,400	0.3%	-11.8%	130	0.3%	30.8%
その他の住宅	3,487,200	5.6%	8.7%	84,300	8.4%	11.7%	3,690	8.3%	79.0%

○出展：総務省統計局ホームページ 平成30年住宅・土地統計調査 住宅及び世帯に関する基本集計第1-2表 (2019-9-30) 統計値であるため合計は一致しない場合があります。前回比は平成25年調査の戸数との比較

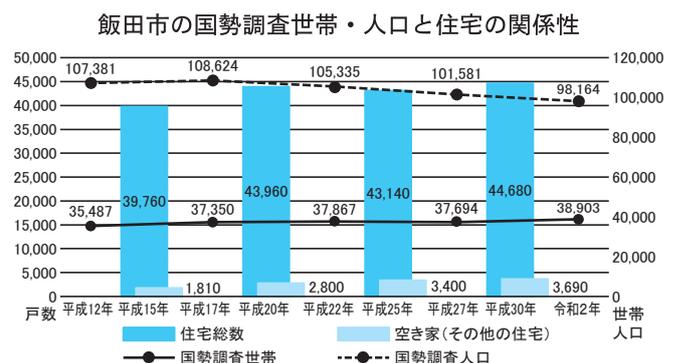
○住宅・土地統計調査の空き家の内訳  
 ・二次元的住宅…別荘。その他、住居とは別に残業で遅くなった時だけ寝泊りする住宅  
 ・賃貸用の住宅…新築・中古を問わず賃貸のために空き家になっている住宅  
 ・売却用の住宅…新築・中古を問わず売却のために空き家になっている住宅  
 ・その他の住宅…上記以外で人の住んでいない住宅。解体を待つ住宅含む。

#### (2) 飯田市の国勢調査人口、世帯数と住宅・土地統計調査

飯田市においても、世帯総数を住宅総数が上回っており、住宅は量的に充足していると思われる。

空き家の増加には人口減少が大きく影響していると言われている。飯田市でも、国勢調査人口が減少し、「その他の住宅」の空き家は増加している。

また、世帯数の増加に伴い、住宅総数は増加している。



### (3) 「まちづくり空き家調査」結果

飯田市では、上記住宅・土地統計調査とは別に、平成28年に、まちづくり委員会の協力により、市内全20地区の空き家調査を実施し、地域から見た空き家の実態を把握した。この調査では空き家の状況も把握しており、「良好」と「ふつう」の空き家が、「傷みあり」「傷みが激しい」になる前に、流通や活用、適正管理を促すことが重要と考えられている。飯田市は、この調査で所在地番が明記された空き家について、「空き家所有者アンケート」や、傷みの激しい空き家から順次「空き家詳細調査」で現地確認を行っており、現在の空き家事業の基礎資料となっている。

これによると、空き家は1,954戸。その内、「良好」「ふつう」の空き家が1,196戸(61%)、「傷みあり」が408戸(20.9%)、「傷みが激しい」が193戸(9.9%)などとなっていた。

下表は、空き家率(ここでは、世帯が一户の住宅を持つとして、これに空き家を加えたものを住宅総数と仮定する)を、この20地区別に見たもので、上村(33.5%)、南信濃(28.0%)の空き家率が非常に高いことが分かる。また、飯田市で「丘の上」と言われる旧市街地は、橋北(7.3%)、橋南(9.0%)、羽場(5.1%)、丸山(5.3%)、東野(6.0%)などとなっており、橋北、橋南の空き家率が比較的高い。

平成28年 まちづくり空き家調査結果

地区名	橋北	橋南	羽場	丸山	東野	座光寺	松尾	下久堅	上久堅	千代	龍江	竜丘	川路	三穂	山本	伊賀良	鼎	上郷	上村	南信濃	合計	
空き家戸数	121	125	107	84	86	75	135	42	93	59	91	52	62	55	63	13	206	86	104	295	1,954	
世帯数	1,538	1,263	1,972	1,502	1,337	1,591	4,985	998	515	601	1,007	2,531	746	457	1,697	5,293	5,210	5,533	206	758	39,740	
空き家率	7.3%	9.0%	5.1%	5.3%	6.0%	4.5%	2.6%	4.0%	15.3%	8.9%	8.3%	2.0%	7.7%	10.7%	3.6%	0.2%	3.8%	1.5%	33.5%	28.0%	4.7%	
状況別	良好	17	13	19	13	19	14	25	2	21	10	1	10	6	14	15	4	39	16	42	30	330
	ふつう	52	56	47	57	47	36	81	12	32	25	9	26	33	23	32	3	80	46	39	130	866
	傷みあり	52	41	18	9	15	5	24	16	19	14	6	11	7	9	5	2	68	17	14	56	408
	傷みが激しい	0	12	15	5	4	5	5	6	20	10	7	3	10	9	10	4	13	6	6	43	193
	記載なし	0	3	8	0	1	15	0	6	1	0	68	2	6	0	1	0	6	1	3	36	157

※橋北地区は先行して独自に調査を行っており「痛みが激しい」は「痛みがある」に含まれている。

※世帯数は、H28.4月末現在

(飯田市資料)

### (4) 空き家所有者アンケート調査の結果

飯田市は、平成28年まちづくり空き家調査で把握した空き家について、「空き家所有者アンケート」を実施している。

これは、具体的に空き家と思われる建物の所在と地番を記載して所有者の意向を調査したもので、925件にアンケート発送し、528件の有効回答があった。

空き家所有者の居住地は、市内285件、県内68件、県外が175件となっている。

これによると、回答者の52%が「利用している」と回答しており、その利用の内訳は「物置・倉庫」が40%、「自分の別宅」が39%となっていた。

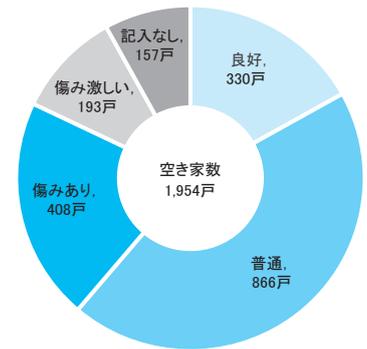
こうしたことから飯田市は、「地域は空き家だと思っても、所有者の過半数は倉庫や別宅として利用しているという、双方の認識の違いがあることが浮き彫りになった」としている。

図表にないが、このアンケートでは、なぜ空き家になったかも聞いており、51%は「居住者の死亡」、34%が「居住者の転居」と回答しており、相続した家が利用されずに空き家になっている場合が多いことが明らかになったとしている。「居住者の移転」や「その他」の中には、離農に伴う事例があるという。

更に、空き家の管理について、85%は「自分で管理」していると回答したが、12%は「管理できない」と回答しており、その主な原因は、「遠方であるため」「手間や費用の負担」が多かった(複数回答)。

あれば利用したい制度として、32%が「解体費補助」、22%が「管理費用補助」をあげ、22%は「相談窓口」をあげている。対象建物の今後について聞いたところ、24%が「分からない」と回答している。

飯田市の空き家の状況



番号	内容	戸数	割合
1	利用している	274	52%
2	空き家になっている	211	40%
3	現在は所有していない	31	6%
4	解体した	8	2%
5	無回答	4	1%

番号	内容	戸数	割合
1	物置・倉庫	114	40%
2	自分の別宅	110	39%
3	その他	34	12%
4	賃貸、売買物件等	24	9%

## 2 飯田市の空き家に関する施策

飯田市は、平成28年度に市役所内に空き家担当専門の係を設け、以下のような対策をとっている。

### ①「飯田市空家対策等の適正な管理及び活用に関する条例」の制定

この条例は、空家対策法の完全施行と前後して制定、施行されたもので、倒壊等の危険において空家対策法が定める「特定空き家等」に至らないが、周辺への影響が大きいと認められるものを市長が「準特定空家」に指定し、指定された準特定空家について、・所有者等への「助言、指導」、・侵入を予防するために開口部を閉鎖するなどの「緊急安全措置」の権限を市に付与している。

### ② 空き家相談

これは上記の担当者が、所有者、相続人からの、空き家の処分等の相談や、近隣住民からの空き家に関する苦情を受け付けるもので、市内の空き家に関する情報を集約している。

これらの情報を基に、所有者、相続人への宅建業者や法務専門家の紹介、市担当者や宅建業者による現地確認と、所有者等への働きかけ等が行われる。

空き家の発生、解消のためには、中古住宅の流通が活発でないことや、相続登記の未経由などの理由で住宅所有者が判然としないといった課題が挙げられるが、空き家所有者が、住宅に関する法制度や住宅売買に関する知識、情報を持ち合わせていないといった点も障害となる。空き家相談は、こうした所有者の情報ギャップを埋め、市内の空き家に関する情報を把握する上でも、重要な施策となっている。

### ③ 空き家バンクの運営

空き家登録件数等の推移

飯田市も、家主からの申出を受け、宅建業者による建物の調査を経て、インターネットなどで希望者に空き家を紹介する空き家バンク事業を行っている。また、家主の家財処分費用や利用者の改修費用の補助制度を設けて利用促進を図っている。

	H28年度	H29年度	H30年度	31/元	R 2年度	R 3年度	R 4年度	合計
空き家登録件数	13	15	15	22	25	17	17	124
利用者登録数	15	25	30	58	77	62	72	339
成約件数	4	10	8	12	18	24	12	88

飯田市の場合、空き家の活用相談がある場合には、宅建業者による流通を勧めているが、比較的廉価な物件や移住者に活用して欲しい物件は空き家バンクで取り扱っており、宅建業者のホームページには掲載されないこれら独自の物件は、移住希望者に人気があるという。

その結果、飯田市の空き家バンク登録件数は各年度10件後半から20件強で、「玉が足りない」状況となっている。前述の通り、中山間地の空き家は多いが、中山間地では、交通の利便性などから、所有者や相続人が流通を諦めている場合も少なくないとみられ、空き家バンクでは、これら中山間地での空き家の流通実績を上げることで所有者の意識を改め、さらなる流通の拡大を図っているという。

利用者登録数は年を追うごとに増えているが、市担当者によれば、県外在住者が5割程度あり、残りの5割には市内や近隣町村の住民で、子供ができたことを契機に住み替えを考える30台前後の利用者が目立つという。また、農地法等の制約はあるが、農地付きの土地に人気があるという。

一方、成約の特徴としては、成約率が約71%と高いが、これには購入、利用価格が安いことが理由ではないかという。また、飯田市や近隣町村の利用者との間で成約になることが多い印象があるというが、これには、県外利用者は、購入希望者が多いこと、飯田市だけではなく田舎を広く探すために、飯田市、近隣市町村の利用者に比べ情報の入手が遅いこと等が考えられるとのことだった。

### ④ 管理不全の解消

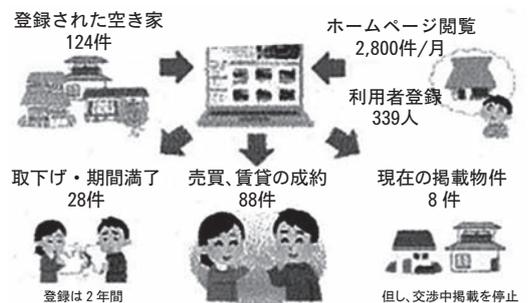
飯田市が、令和4年度に「空家対策法」、「空家対策条例」に基づき適正管理を呼び掛けた通知は156通だった。短期間では対応が得られず、継続的に状況確認と通知が行われている。

空家対策法の特定空家にはこれまでに21戸を認定し、集中的な指導と解体補助で、これまでに12戸を解消した。

### ⑤ 地域住民がする空き家解消の支援

前述の龍江、上久堅地区など、空き家を活用した移住者受け入れに取り組む地域では、空き家の所有者に活用

飯田市空き家バンクの状況  
(平成28年8月～令和5年3月31日)



を働きかけ、移住希望者に紹介をするなど、空き家利用を促進しているケースがある。

また、橋北地区は飯田市に先立って空き家調査などを行った地区だが、歴史的建造物が比較的残存しており、この地区で、右のような、飯田市に残存する歴史的建造物、空き家の新たな活用を模索する取り組みが行われた。

安東邸は、飯田市出身の帝国陸軍大将、第6代台湾総督安東貞美の生家で、明治、昭和初期に建築された建物が今も現存する（当研究所発行「郷土の偉人」ご参考）。

飯田市には、フィールドワークなどを通じて飯田市と関係を深めてきた大学、研究者等が、飯田市を中心に有機的なネットワークを形成する「学輪IIDA」という取り組みがあるが、この取り組みは、その一環として、明治大学建築・アーバンデザイン（佐々木宏幸）研究室が、飯田市からの委託事業として飯田市と協同して実施したものである。（資料出所：すべて飯田市資料）

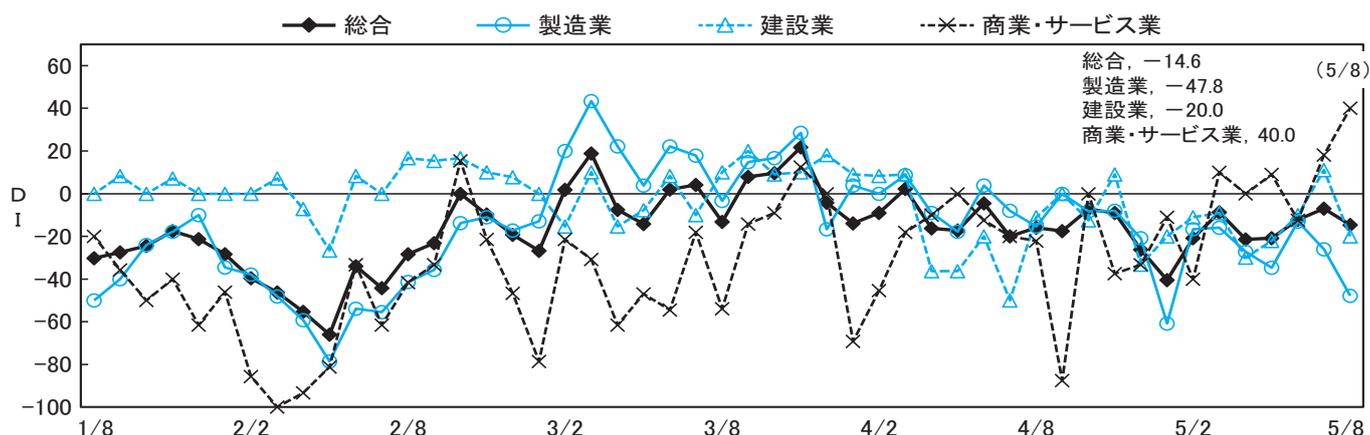


## 飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数	前月比	前年同月比	前々年同月比	令和元年同月比
倒産件数 (負債総額1千万円以上)	県内	10件	(前月 7件)	(前年同月 6件)	(前々年同月 1件)	(令和元年同月 6件)
	飯伊	1件	(前月 2件)	(前年同月 4件)	(前々年同月 0件)	(令和元年同月 0件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数) (7月)		59戸	△ 49.1%	△ 27.2%	△ 3.3%	△ 7.8%
有効求人倍率 (パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内) (7月)		1.58倍	(前月 1.56倍)	(前年同月 1.55倍)	(前々年同月 1.41倍)	(令和元年同月 1.48倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	1,840台	△ 13.2%	9.3%	1.1%	△ 17.6%
	中古車	682台	△ 2.6%	10.2%	7.6%	9.6%
軽自動車新規登録台数 (全国軽自動車協会連合会) (7月)	新車	3,409台	△ 4.8%	△ 8.9%	△ 2.7%	△ 16.1%
	中古車	997台	△ 19.6%	△ 3.9%	0.4%	△ 1.0%
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	104,388台	3.4%	10.5%	28.4%	△ 18.9%
	出	105,991台	2.3%	9.9%	28.7%	△ 18.3%
中央道利用台数 (松川インター分)	入	65,590台	5.5%	9.2%	35.3%	△ 24.4%
	出	61,841台	3.9%	8.7%	30.1%	△ 25.8%
中央道利用台数 (園原インター分)	入	17,561台	△ 4.3%	△ 4.7%	29.0%	△ 14.1%
	出	16,726台	13.4%	△ 4.7%	24.8%	△ 17.7%
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	53,322台	2.8%	8.8%	38.8%	△ 2.3%
	出	54,583台	3.4%	10.0%	30.6%	△ 0.6%
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	41,229台	0.6%	18.5%	—%	—%
	出	38,802台	△ 0.5%	15.0%	—%	—%
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		118件	△ 9.9%	16.8%	2.6%	△ 18.6%
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		0件	(前月 1件)	(前年同月 0件)	(前々年同月 1件)	(令和元年同月 7件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	28,298人	36.8%	57.4%	303.5%	△ 23.2%
	飯田～名古屋	16,649人	22.4%	51.3%	142.3%	△ 27.2%
	飯田～長野	3,959人	△ 0.9%	32.2%	55.7%	△ 57.2%
	伊那・駒ヶ根～新宿	21,905人	26.8%	70.1%	419.2%	△ 25.6%
市内循環バス乗車人数	左回り	2,694人	2.4%	2.0%	△ 6.4%	△ 27.9%
	右回り	2,879人	3.4%	8.9%	5.6%	△ 20.4%

## 飯伊地区全産業景況DIの推移

飯伊地区景況DI（本誌調査）



## 「第54回 しんきん経済講演会」のご案内

令和5年11月7日に、恒例のしんきん経済講演会を開催します。  
 今回の講師は、第一生命経済研究所首席エコノミスト 熊野英生先生。  
 皆様のご聴講をお待ちしております。

ご聴講方法は、【シルクホテル会場聴講（定員120名）】と、  
 【Zoomウェビナーでのオンライン聴講】の二通り。  
 いずれも、飯田信用金庫ホームページの専用フォームもしくは  
 お電話でお申し込み下さい（お申込み締切：令和5年11月6日）

URL <https://www.iidashinkin.co.jp/region/events/shinkin/>

🔍 飯田しんきんのイベント情報 🔍 検索



お電話でのお申し込みも  
受け付けております。

TEL 0265-53-5811

飯田信用金庫  
地域サポート部

その他のお問い合わせも、飯田信用金庫地域サポート部へお願いします。